



RADIUS 属性 82 トンネル割り当て ID

- [RADIUS 属性 82 トンネル割り当て ID の前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [RADIUS 属性 82 トンネル割り当て ID の制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [RADIUS 属性 82 トンネル割り当て ID に関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [RADIUS 属性 82 が LAC で使用されているかどうかの確認方法 \(2 ページ\)](#)
- [RADIUS 属性 82 トンネル割り当て ID の設定例 \(2 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(4 ページ\)](#)
- [RADIUS 属性 82 トンネル割り当て ID の機能情報 \(5 ページ\)](#)

RADIUS 属性 82 トンネル割り当て ID の前提条件

この機能を使用するには、VPDNをサポートするシスコプラットフォームを使用している必要があります。

RADIUS 属性 82 トンネル割り当て ID の制約事項

この機能は、VPDNダイヤルインアプリケーション専用設計されています。VPDNダイヤルアウトはサポートしていません。

RADIUS 属性 82 トンネル割り当て ID に関する情報

RADIUS 属性 82：トンネル割り当て ID 機能を使用すれば、レイヤ 2 トランスポートプロトコル アクセス コンセントレータ (LAC) で複数のユーザ単位またはドメイン RADIUS プロファイルからのユーザを同じアクティブトンネルにグループ分けすることができます。RADIUS 属性 82：トンネル割り当て ID 機能は、選択されたエンドポイント、トンネルタイプ、および Tunnel-Assignment-ID が同じ場合に、LAC で複数の RADIUS プロファイルからのユーザを同じトンネルにグループ分けできるようにする新しい avpair の Tunnel-Assignment-ID を定義します。この機能により、新しいソフトウェア機能が導入されました。この機能のために導入されたコマンドはありません。

RADIUS 属性 82 が LAC で使用されているかどうかの確認方法

RADIUS 属性 82：トンネル割り当て ID 機能に関する設定手順はありません。このタスクは、トンネル認可中に LAC で使用される RADIUS 属性 82 を確認します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. Router# **debug radius**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	Router# debug radius 例： Router# debug radius	RADIUS 関連の情報を表示します。このコマンドの出力は、属性 82 がアクセス要求内で送信されているかどうかを示します。

RADIUS 属性 82 トンネル割り当て ID の設定例

LAC の設定例

次の例は、VPDN グループがルータで定義されている場合の LAC の設定を示しています。

```
aaa new-model
aaa authentication ppp default local
aaa authorization network default local
!
bba-group pppoe bba_group1
virtual-template 1
!
```

```
interface Loopback1
no ip address
vpdn-group VPDN_LAC1
request-dialin
protocol l2tp
local name tb162_LAC1
domain isp1.com
initiate-to ip 10.0.0.2
source-ip 10.0.0.1
l2tp tunnel receive-window 100
l2tp tunnel nosession-timeout 30
l2tp tunnel retransmit retries 5
l2tp tunnel retransmit timeout min 2
l2tp tunnel retransmit timeout max 8
l2tp tunnel hello 60
l2tp tunnel password tunnel1
!
!
interface virtual-template 1
no snmp trap link-status
no keepalive
ip unnumbered loopback1
ppp mtu adaptive
ppp authentication pap
no logging event link-status
!
```

次の例は、VPDN グループが RADIUS で定義されている場合の LAC の設定を示しています。

```
aaa authentication ppp default group radius
aaa authorization network default radius
!
bba-group pppoe bba_group1
virtual-template 1
!
interface Loopback1
no ip address
interface virtual-template 1
no snmp trap link-status
no keepalive
ip unnumbered loopback1
ppp mtu adaptive
ppp authentication pap
no logging event link-status
```

LNS の設定例

次の例は、LNS 上で VPDN を設定します。

```
hostname lns
aaa new-model
aaa authentication ppp default group radius
aaa authorization network default group radius
vpdn enable
vpdn-group VPDN_LNS1
accept-dialin
protocol l2tp
virtual-template 1
terminate-from hostname tb162_LAC1
local name LNS1
l2tp tunnel hello 90
```

```

l2tp tunnel password 0 hello1
interface Loopback0
 ip address 10.1.1.3 255.255.255.0
interface Virtual-Template1
 ip unnumbered Loopback0
 no keepalive
 peer default ip address pool mypool
 ppp authentication chap
 ip local pool mypool 10.1.1.10 10.1.1.50
 radius-server host lns-radiusd auth-port 1645 acct-port 1646
 radius-server retransmit 3
 radius-server key cisco

```

RADIUS の設定例

次の例では、トンネルのセッションをグループ化するように RADIUS サーバを設定します。

ユーザ単位の設定

```

user@router.com Password = "cisco" Service-Type = Outbound,
 Tunnel-Type = :1:L2TP,
 Tunnel-Server-Endpoint = :1:"10.14.10.54",
 Tunnel-Assignment-Id = :1:"router"
client@router.com Password = "cisco" Service-Type = Outbound,
 Tunnel-Type = :1:L2TP,
 Tunnel-Server-Endpoint = :1:"10.14.10.54",
 Tunnel-Assignment-Id = :1:"router"

```

ドメインの設定

```

eng.router.com Password = "cisco" Service-Type = Outbound,
 Tunnel-Type = :1:L2TP,
 Tunnel-Server-Endpoint = :1:"10.14.10.54",
 Tunnel-Assignment-Id = :1:"router"
sales.router.com Password = "cisco" Service-Type = Outbound,
 Tunnel-Type = :1:L2TP,
 Tunnel-Server-Endpoint = :1:"10.14.10.54",
 Tunnel-Assignment-Id = :1:"router"

```

その他の参考資料

次の項で、RADIUS トンネル属性拡張に関する参考資料を紹介します。

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
認証	「認証の設定」モジュール。
RADIUS 属性	「RADIUS Attributes Overview and RADIUS IETF Attributes」モジュール。
VPDN	『Cisco IOS VPDN Configuration Guide, Release 15.0』。

標準

標準	タイトル
なし。	--

MIB

MIB	MIB のリンク
なし。	<p>選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィーチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p> <p>http://www.cisco.com/go/mibs</p>

RFC

RFC	タイトル
RFC 2868	『RADIUS Attributes for Tunnel Protocol Support』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンライン リソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</p>

RADIUS 属性 82 トンネル割り当て ID の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだ

けを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェアリリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: RADIUS 属性 82 : トンネル割り当て ID の機能情報

機能名	リリース	機能情報
RADIUS 属性 82 : トンネル割り当て ID	Cisco IOS XE Release 2.1	<p>RADIUS 属性 82 : トンネル割り当て ID 機能を使用すれば、レイヤ 2 トランスポート プロトコル アクセス コンセントレータ (LAC) で複数のユーザ単位またはドメイン RADIUS プロファイルからのユーザを同じアクティブ トンネルにグループ分けすることができます。</p> <p>Cisco IOS XE Release 2.1 では、Cisco ASR 1000 シリーズ アグリゲーション サービス ルータのサポートが追加されました。</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。